Creative Enzymes®

ヒト由来のカルボキシルエステラーゼ1アイソフォームb、組換え

Cat. No. NATE-1915

Lot. No. (See product label)

はじめに

明	カルボキシルエステラーゼ1は、大規模な多遺伝子カルボキシルエステラーゼファミリーの一員です。これらの酵素は、コカインやヘロインなどのエステルおよびアミド結合を含む物の加水分解を担当しています。また、長鎖脂肪酸エステルやチオエステルも加水分解します。この酵素は、芳香族および脂肪族エステルを加水分解することが知られており、細胞内コレステロールのエステル化に必要です。また、肺における解毒や、エステルまたはアミド化合物から中枢神系を保護する役割を果たす可能性もあります。
用途	高い触媒活性を提供し、物相互作用研究やプロドラッグおよび非CYP排除路の評価のための理動態研究を含む、堅牢なハイスループットスクリーニングアッセイに最適です。
別名	EC 3.1.1.1; エステラーゼアイソザイム 1; 9016-18-6; カルボキシルエステラーゼ; アリエステラーゼ; B-エステラーゼ; モノブチレース; コカインエステラーゼ; プロカインエステラーゼ; メチルブチレース; ビタミンAエステラーゼ; ブチリルエステラーゼ; カルボキシルエステラーゼ; カルボキシレートエステラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; メチルブチレートエステラーゼ; トリアセチンエステラーゼ; カルボキシルエステルヒドロラーゼ; ブチレートエステラーゼ; メチルブチレース; α-カルボキシルエステラーゼ; プロピオニルエステラーゼ; 非特異的カルボキシルエステラーゼ; エステラーゼ D; エステラーゼ B; エステラーゼ A; セリンエステラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; コカインエステラーゼ

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染したBTI昆虫細胞
形態	液体
EC番号	EC 3.1.1.1
CAS登番号	9016-18-6
活性	≥500 ユニット/mg タンパク質
濃度	5 mg/ml
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 7.4の条件下で1分あたり1ナノモルの4-ニトロフェニルアセテートを加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	-70°Cで